

豊田中央図書館だより

よもよも

vol.58
2025

7

ここは、本とぼくをつなぐ場所

わたしと、図書館 vol.42

あなたにとって豊田中央図書館は
どんな場所ですか？利用者さんに、図書館の
お気に入りスポットで話を聞きました

すずき はるま
鈴木 陽真 さん

鉄道が大好きな小学3年生。「第12回豊田市 学校や地域の図書館を使った調べる・伝える学習コンクール」で特別審査員賞受賞。好きな車両はJR西日本323系。特技は水泳と鉄道アナウンス。



陽真さんの好きな本
『江ノ電 - 懐かしの電車名鑑』
湘南の風景の中を走った全車両の記録！
湘南倶楽部 / 編
JTB 請求記号 686.91/33/

一冊の本から繋がる読書の旅

「電車は乗るのも見るのも写真を撮るのも楽しい！」と笑顔で語ってくれた陽真さん。昨年度の調べる・伝える学習コンクールでは、鉄道をテーマにした作品『あんしん・あんぜん てつどうのひみつ』で特別審査員賞を受賞した。

「幼稚園が終わった春休みに、友達と名古屋市科学館に行くときに久しぶりに電車に乗ったら『電車楽しかった〜！』みたいになって、そこから電車が好きになったんだ。旅行に行くときも電車に乗って、電車の写真を撮って終わって。『うちのホームでカシヤ！あっちのホームでカシヤ！』同じホームで行ったり来たり。電車がお土産になっている」

たくさん電車で乗る中で「なぜ鉄道は安全で、安心して利用できるのか」という疑問が作品作りに繋がった。調べるときに一番楽しかったのは「図書館で鉄道の本をいっぱい借りたことだ」という。読んだ本の中に紹介されていた本から次々に読みたい本を見つけて、それを図書館で探すことを繰り返してきた。

その中の一冊が『江ノ電 - 懐かしの電車名鑑』だ。『2号車は関東大震災で焼けちゃったこととか、昔の切符の写真とか、江ノ電の歴史や豆知識がいっぱい載ってる。見たことのない電車の写真を見ると、見に行きたい！ってなるよね』

陽真さんにとって図書館はどんな場所か聞いた。

『大好きな鉄道のコーナーに行く途中に、おすすめの本とか、その季節にあった本とか、今日返ってきた本とかが置いてあって。図書館は、これ楽しそう、おもしろそうだって、自分じゃ見つけられない本にいい出会える場所！』

谷口智則 たにぐち ともりのり

1978 年生まれ。金沢美術工芸大学日本画専攻卒業。
2004 年『サルくんとお月さま』で絵本作家としてデビュー後、フランスで絵本『CACHE CACHE』を始め数々の絵本を出版。その後イタリア、台湾、中国、カンボジアなど海外でも数々の絵本を出版し世界で活動している。絵本以外にも、広告やパッケージデザイン、商業施設の空間プロデュースなど多方面で活躍中。大阪府四條畷市の PR 大使を務める。



絵本の読み聞かせ&ライブペインティング 絵本作家 谷口智則さんがやってくる！

8.23 土 豊田市中央図書館 6 階多目的ホール
午後1時30分～3時30分

対象：3歳以上小学生以下の子どもとその保護者（子ども1人につき保護者1人まで）
※豊田市在住の方優先、中学生以上の方のおひとり参加は立ち見の可能性あり
定員：80人 ※抽選
申込み：7月15日（火）までに、中央図書館各階総合案内またはHPにて受付
※当選者のみ、7月31日（木）までに連絡



絵本の読み聞かせ&ライブペインティング開催決定

絵本作家 インタビュー

谷口智則さん

『100にんのサンタクロース』でおなじみの絵本作家・谷口智則さんが、この夏図書館にやってきます！今回の特集では、絵本作品や創作活動、読書歴について、谷口さんにお話をうかがいました。

絵本作家への道

子どもの頃から絵や本が好きで、高校時代、将来は絵を描く職業に就きたいと考えていました。いろいろな絵の展覧会を観て、「1枚の絵で感動を与えるのは難しいな」と考えていました。しかし、たくさんの海外の絵本作家の展覧会を観るうちに、遠く離れた海外の作品でも絵と物語があれば感動を与えられることを実感して、絵本を作ってみようと思いました。

まずは日本の良さを学んでから、それを海外の人にも伝えたいという思いで、大学では日本画を専攻しました。2年生のときに『鳥獣戯画』の模写をして、文字がなくても絵だけで物語が伝わるということに気づき、文字のない絵本『サルくんとお月さま』を制作しました。デビューしたものの、日本では次の絵本出版の機会に恵まれません、思い切っ



©Tomonori Taniguchi

最新作『かいじゅうのすむしま』ができるまで

谷口 智則 / 作
アリス館
請求記号 E/タノ

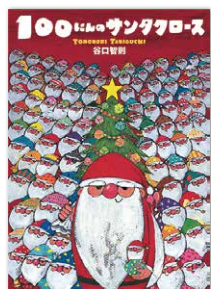


コロナ禍で、誰もが見えない敵と戦っている時期に、見えない敵と重ねて「かいじゅう」を描くことが多くなりました。ある時から果たして「かいじゅう」は悪者なのかな、なんてことも考えだして、傘や花束を持っている「かいじゅう」の絵を描き始めました。この方が自分の世界観に合っていると感じて、そこからストーリーを考え始めました。その時に思いついたのは、息子のある一言です。「ニース番組で、以前息子と一緒に行った場所が激しい豪雨の被害にあったっている状況を見て」「こ、この間行ったところやで」と息子に伝えたら、「日本中を全部覆えるくらい大きい傘ってババ、でさないの?」と言われたんです。この言葉から、大きい「かいじゅう」なら島中を覆える傘を差せるな、と想像が膨らんでいき、悪だと思っていた存在が、実はみんなを守ってくれていた、というストーリーが生まれました。この作品では、普段はあまり描かないような、ミサイルが飛ん

個性豊かな物語の主人公たち

絵本に登場する動物たちは、絵本ごとに主人公が違うだけで、全ての登場人物たちは同じ世界で生きているイメージで作っています。動物は見た目や特徴だけで、個性を表すことができる魅力があります。人間を主人公にすると、その人物の特徴を説明するところから始めないといけません。例えば、ソウなら「鼻が長い」「大きい」ということはみんな知ってますよね。だから、余計な説明がいらないんです。サンタさんにしても同じことが言えると思います。

サンタさんの絵本を描きたいと思ったのは、世界中の子どもたちに絵本を届けたいという自分の思いが、子どもたちにプレゼントを届けるサンタさんの存在に近いものを感じたからです。最初に海外で『おおきいサンタとちいさいサンタ』を出版し、もっというんなサンタさんがいたら、いろんな場所にプレゼントを届けにいけるのではと思い制作したのが『100にんのサンタクロース』です。



『100にんのサンタクロース』
谷口 智則 / 作・絵
文溪堂
請求記号 E/タノ

待望の続編と100休目のサンタ制作

できたり「かいじゅう」が倒れたりするシーンを描いています。子どもたちに読み聞かせをしていると、かなり感情移入してくれて「かいじゅうがかわいそうや」なんて言ってくれるので、伝わっていいうれいなと思いますね。

今年は12年ぶりにサンタの絵本の続編を出版する予定です。で、楽しみに待っていてください。また地元である大阪の四條畷市で「100にんのサンタクロースプロジェクト」(市内にサンタクロースのオブジェ100体を置いて街中の賑わいを創出する取組み)をやっています。最初はほく1人で始めましたが、今ではたくさんの方々が協力してくれています、今現在99体完成していて、最後の100体目は9月に大阪・関西万博のステージで完成させる予定です。



©Tomonori Taniguchi

子どもたちが楽しめる要素を取り入れながらも、普遍的なテーマで、どの年代の方が読んでも心に届くものを作りたいという気持ちは常にありますね。15ページしかない、シンプルな絵とストーリーだけで、世界中の人にメッセージを届けられるってすごいことだと思っています。そこは意識して作っています。



©Tomonori Taniguchi

谷口智則のいろ

学生時代にたまたま黒い紙を使い始めました。当時、お金がなかったのでとりあえず赤・青・黄・白の4色の絵具だけ使って描いていました。今は6色(赤・青・黄・黄土・ピンク・白)です。これだけあればどんな色でも作れると思っています。ほくの絵本は、暗い森に入ったり悩んだりするシーンから、自分で光を見出し、明るいところへ行く、というイメージで描いています。自分の描きたい絵本のテーマと、暗い色の紙に主人公たちに光を当てるように色をのせていく描き方がピッタリなんです。

物語ができる過程を一緒に楽しもう！

観客のリクエストに応じて、即興で絵を描きながら、物語ができていく過程を一緒に楽しめるライブペインティングは、絵本作家ならではのものだと思っています。海外に行ったときにファン目の前で作家さんが実際に絵を描く姿を見て、自分でもやってみたいと思いました。ただサインをするだけよりも、絵を描く過程を見せることで、子どもたちに「すごい」と憧れをもってもらえることができる。それが子どもたちの夢に繋がるのではないかなと思っています。

図書館が身近にあることの幸せ

ほくは小学生の頃、通学路の途中に図書館がある環境で育ち、図書館が大好きでした。絵本作家デビュー後は「図書館への恩返しや」と思って自分が通っていた図書館に自作を寄贈したり、図書館のミニメント制作に協力したりしています。ほくは運よく身近な場所に図書館があったから、今もある人生を送れているのですが、図書館が身近な場所にならない人いると思います。豊田市の図書館は交通の便が良い場所にあって、蔵書も豊富でしょう。図書館が近くにあることはすごく幸せなことです。本を読むことは想像力を育み、人生の支えになります。ほくも、子どもの頃から本を通してさまざまな場所へ冒険しに行っていました。ぜひ皆さんも、たくさん本に触れてほしいです。

図書館スタッフのわたしの好きな本

『成瀬は天下を取りにいく』

宮島 未奈 / 著 (新潮社刊)
請求記号 913.6/ミヤ



我が道を行く「成瀬」がら目が離せない!!

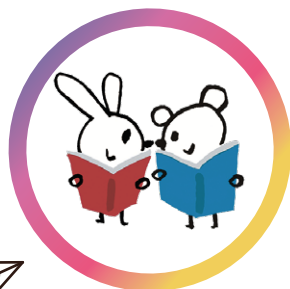
自分のお気に入りの本が「本屋大賞」にノミネートされ、大賞まで受賞するという驚きと喜びを初めて味わった、とても印象深い本です。昨年は、地元愛溢れる主人公「成瀬あかり」が住む小説の舞台となった滋賀県大津市を訪れ、「聖地巡礼」の旅も楽しんできました。周りに流されず、決してわがままでもなく我が道を突き進む主人公の姿に引き込まれ、読み終わると前向きな気持ちになり、爽快感を味わえる作品です。



スタッフ 山口
好きなことは野球観戦、鉄道旅

図書館
News

図書館公式 Instagram を始めます



7月19日
開始!

フォロー
してね!



豊田市中央図書館・豊田市こども図書室は、7月19日(土)に公式 Instagram (インスタグラム) アカウントを開設します。なお、Instagram 開設に伴い、Facebook アカウントは7月31日(木)をもって閉鎖いたします。今後は、Instagram と X (旧 Twitter) を通じて、図書館の最新情報や魅力を発信していきますので、ぜひチェックしてください。



谷口智則さんの好きな本



『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ / 作
内藤 濯 / 訳 岩波書店
請求記号 K953/ワジ

サハラ砂漠に不時着した飛行士と、星の王子さまとのふれあいを描いた物語。わたしたちに「本当に大切なものは何か」を考えさせる不朽の名作。谷口さんが絵本作家の夢を志した頃に読み直し、影響を受けたという一冊。



『おおきな木』

シェル・シルヴァスタイン / 作
村上春樹 / 訳 あすなろ書房
請求記号 E/シル

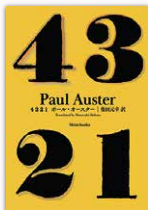
1964年にアメリカで出版されて以降世界各地で読み継がれたロングセラーの絵本。いつも一緒に過ごしていた少年とりんごの木。成長して変わっていく少年と、変わらずに愛を注ぎ続けるりんごの木の不思議な物語。



『トム・ソーヤーの冒険』上

マーク・トウェイン / 作
石井桃子 / 訳 岩波書店
請求記号 K933/ワジ

ミシシッピ川沿いの小さな村を舞台に、わんぱく少年トムが相棒ハックと共に大活躍する冒険物語。自然の中でのびのびと生きる子どもたちを描いた傑作。冒険ものが好きだった谷口さんが、小学生の頃に読んだ一冊。



『4321』

ポール・オースター / [著]
柴田元幸 / 訳 (新潮社刊)
請求記号 933.7/アス

1947年アメリカ、ユダヤ系の家庭に生まれたアーチャーが激動の時代を駆け抜けて大人になっていくさまを描いた大長編成長物語。読み進めると、あっと驚く仕掛けに気付く。フィクションが好きな谷口さんが今読んでいる本。

中央図書館3階にて特集展示

「谷口智則さんのいろ」開催中

7月の展示

※展示期間の詳細は図書館までお問い合わせください。

3階

やってみよう!調べる・伝える学習

よもよも × 谷口智則さんのいろ

「モネ 睡蓮のとき」展関連資料展示
(豊田市美術館連携)

第173回芥川賞・直木賞

あなたの抱える問題、
本が解決します!～睡眠編～

【3・6階で展示】トヨタで働く人が選ぶ!
未来のクルマ屋へ～夢が動き出す本たち～
(トヨタ博物館クルマの図書室連携)

【ティーンズ】ライトノベル特集

4階

くだものパラダイス!!

絵本作家
谷口智則さんがやってくる!

【児童】課題図書

【自動車】

F1 75周年～各チームの軌跡～

5階

「エジプト
-古代エジプト文明から現代まで-」
(豊田市博物館連携)

【映画】国宝
(イオンシネマ豊田 KİTARA連携)

【企画展示】静面の会 能面展示
(静面の会主催)

7月の図書館カレンダー

1 火	音訳ボランティア養成講座
2 水	
3 木	
4 金	
5 土	新聞切りぬき作品づくりにチャレンジ
6 日	
7 月	休館日
8 火	音訳ボランティア養成講座 / 赤ちゃんのための絵本講座(0歳児)
9 水	赤ちゃんのための絵本講座(0歳児)
10 木	赤ちゃんのための絵本講座(1歳児)
11 金	
12 土	【講座】ストップ! 温暖化教室
13 日	【講座】豊田市美術館～作家にまつわるいくつかの物語～
14 月	休館日
15 火	音訳ボランティア養成講座

16 水	夏休み期間中 (7/19～8/31) 中央図書館は月曜日も特別に開館します
17 木	
18 金	
19 土	【講座】調べ学習を楽しもう / 読書感想文書き方教室(若園・中央)
20 日	調べ学習サポート交流会 / 【講座】探究心を高めよう わくわく夏の工作会(～7/22)
21 月	
22 火	音訳ボランティア養成講座
23 水	
24 木	
25 金	
26 土	夏の毎日おはなし会(～8/10) / 読書感想文書き方教室(藤岡)
27 日	
28 月	【講座】知るともっと楽しい長篠合戦図屏風の世界!
29 火	音訳ボランティア養成講座 / 【講座】豊田の地層から化石を探そう
30 水	
31 木	

PICK UP イベント情報



15分で行える わくわく夏の工作会

内容 ▶ 7月は ①CDゴマ ②からくりキューブ
8月は ①かみざらヨーヨー ②パタパタペンギン

と き 7月20日(日)～22日(火)
8月9日(土)～11日(月) 各日午後1時～2時30分

場 所 中央図書館4階児童コーナー

定 員 各日32人 ※先着

対 象 小学生以下(未就学児は保護者同伴)

申込み 当日、午後1時から児童コーナーにて受付



2025 調べる・伝える学習応援講座 光と色と星の不思議! スペクトルの科学

内容 ▶ 簡易分光器作りやスペクトル管を使った実験などに
挑戦しながら、光や色の仕組みについて学びます

と き 8月3日(日) 午後2時30分～4時30分

場 所 中央図書館6階多目的ホール 定 員 20人 ※抽選

対 象 小学5年生～中学3年生

講 師 緒方 秀充 氏(豊田市立竜神中学校長)

申込み 7月22日(火)までに、中央図書館4階総合案内または
HPにて受付 ※当選者のみ7月26日(土)までに連絡



2025 調べる・伝える学習応援講座 知るともっと楽しい長篠合戦図屏風の世界! My 屏風をつくろう

内容 ▶ 長篠合戦図屏風を使った学習や、My 屏風作りを
通して、屏風とはどんな道具かを学ぶ講座です

と き 7月28日(月) 午後2時～4時

場 所 中央図書館6階多目的ホール 定 員 20人 ※抽選

対 象 小学3年生～中学3年生

講 師 駒野 雅彦 氏(豊田市博物館エデュケーター)

申込み 7月17日(木)までに、中央図書館4階総合案内または
HPにて受付 ※当選者のみ7月21日(月)までに連絡



手作り絵本講座

内容 ▶ ①ジャバラ製本 ②ハードカバー

と き 8月5日(火)、19日(火)、26日(火)

①午前10時15分～午後0時15分 ②午後1時～3時

場 所 中央図書館6階多目的ホール 材料費 1,000円

定 員 各15人 ※抽選 対 象 全日程参加可能な小学生以上の方

申込み 7月22日(火)までに、中央図書館各階総合案内・電話
または HP にて受付
※当選者のみ7月29日(火)までに連絡



よもよも

豊田市中央図書館だより vol.58
2025年7月1日発行

〒471-0025 豊田市西町 1-200 豊田参合館内 TEL 0565-32-0717

休館日 月曜日(祝日、夏休み期間は開館)、年末年始(12月28日～1月4日)

特別整理休館日(12月2日～5日) 開館時間 午前10時～午後8時

豊田市中央図書館は、指定管理者株式会社図書館流通センター・ホームックス株式会社共同企業体が管理・運営を行っています。

中央図書館 HP
図書の検索・予約
利用案内はこちら

